

ウールン商会が2019年春夏から取り扱いをスタート

高級素材を知り尽くしたコロomboの魅力

TEXT: JUN YABUNO

インポーターのウールン商会は2019年春夏シーズンから、イタリアを代表する高級テキスタイルメーカーのラニフィエーチョ・ルイージ・コロombo(以下、コロombo)が手掛けるプレタポルテ・コレクションの取り扱いをスタートした。専門店や百貨店への卸販売で販路を広げるとともに、日本市場での認知向上とブランド確立を目指す。

1960年代終わりに現社長の父であるルイージ・コロomboが創業したコロomboは、カシミアやグアナコ、ビクーニャ、キャメル、ミンク、チンチラといった貴重な素材にこだわった繊維業界をけん引するメーカーの一つだ。現在は、イタリア北西部にあるセーリア川などの美しい自然に囲まれたのボルゴセリアに工場を構え、ファブリックやウエア、アクセサリーを生産。高品質のファブリックは、世界の名だたるラグジュアリーブランドからも絶大な信頼を集めている。

同社のモノ作りの背景には、中国やモンゴル、南米、オーストラリア、カナダなどから調達する原毛のセレクトから研究開発や生産過程に至るまで、クオリティーを追求する姿勢がある。原毛から94もの工程を経て生み出されるファブリックは、代々受け継がれる知識や職人技と最先端のテクノロジーを掛け合わせたもの。そこには、素材への情熱と敬意が込められている。また、生産地の環境を保護したり、水源として利用する川の水

質や工場内に流れる空気を管理したりすることも、上質な生地作りには欠かせない。

そんなコロomboが誇る生地や糸と細部にまで徹底的にこだわる美学を最大限に生かしているのが、メンズとウイメンズのプレタポルテ・コレクションだ。現在はミラノに旗艦店を構えるほか、世界各国の有力店でも取り扱われている。秋冬シーズンは、貴重なキッドカシミアのみを使用したニットウエアをはじめ、着心地のいいカシミアフリースのアンコンストラクテッド・ジャケットやコート、カシミア×シルクからビクーニャまでバリエーション豊富なストールを中心に提案。春夏は、薄手のキッドカシミアニットに加え、シルク×コットンのウエアやアクセサリーが充実する。価格帯は、アウター32万~128万円、ニット11万~63万円、ストール7万~120万円など。確かな品質に支えられた、「タイムレス・ラグジュアリー」を体現するアイテムがそろそろ。近日、2020年春夏コレクションの展示会を東京と大阪で開催予定だ。



Production Process



1.カシミアゴートの毛を梳いて得たカシミアの原毛。ここから生地のもとになる糸が作られる 2.織り工場には空気清浄システムを導入。小さなホコリも可能な限り取り除いたクリーンな空間の中で生地が織られる 3.織り上がった生地は、人の目による入念なチェックを受ける。全ての工程において高級素材への品質管理が行われる 4.起毛にはアザミの実を並べた天然のブラシを活用。これにより滑らかな手触りの生地に仕上がる

Pick-up Item



左:ビクーニャだけを使用した「フライングストール」は、この上ない柔らかさとしっとりとした質感が魅力 上:100%キッドカシミアのチャッキーなタートルネックセーター

Interview

“ウエアには最上級の素材だけを使っている”

ロベルト・コロombo/ラニフィエーチョ・ルイージ・コロombo社長

創業家の2世代目としてコロomboを率いるロベルト・コロombo社長は、最新技術を取り入れた研究開発で高級素材の世界的リーダーという地位を築いた。「技術革新への投資を始めたのは40年ほど前で、素材における革新に取り組んだ初のメーカーだと自負している。目指しているのは、貴重な繊維からモダンでクールな素材を作ることだ」とコロombo社長。ただ、「創業当時から品質に対する考え方は変わらない。そこに強いこだわりを持ち、生地工場で働く380人全員が品質管理を徹底している。そして、生地としてだけでなく服になったときのバ

フォーマンスを考えるように教えている」という。

プレタポルテは、シンプルなデザインが特徴で素材の良さが際立つ。「例えば、ニットに用いるのは15ミクロンのキッドカシミアだけ。1年間で生産に使用するカシミアは300トンだが、キッドカシミアは約15トンのみ。その数字からも分かるように、ウエアには厳選された最上級の素材だけを使っている。コロomboはファッションを追求するブランドでなく、ラグジュアリーにおけるイノベーター。だからこそ、控えめであることを大切にしている。質を理解していれば、

ブランドネームやロゴを見せびらかす必要はない」とモノ作りへの思いを明かす。

また、ウールン商会をパートナーに選んだ理由については、「これまで素晴らしい実績があり、私たちの考え方や真のラグジュアリーブランドとして発展するには時間が必要であることへの理解があったから」とコメント。「彼らに期待するのは、コロomboの哲学に寄り添い、着実に日本市場での確かな地位を築くこと。成長を急いではいないし、10年以上の長期プロジェクトになるだろう。当面は、専門店や百貨店への卸販売を中心に、卸が安定した後に直営店を開きたい」。



PROFILE: 1959年イタリア・ピエーモンテ生まれ。78年パビアの大学で経済学を学ぶ傍ら、父が率いるルイージ・コロombo社に参画。高級素材開発戦略における長期計画を立案し、ビジネスの転換を図る。97年ヨーロッパ中小企業最優秀賞受賞。99年リサーチと発展オプザイヤー受賞。2016年イタリア共和国大統領より労働勲章を受賞

WWD JAPAN 24.06.2019

Woollen started the partnership from 2019SS

Colombo presents noble fibres

Woolen Co., Ltd started to distribute the ready-to-wear collection of the Italian luxury textile manufacturer Lanificio Luigi Colombo from season Spring/Summer 2019 trying to expand the sales channels of wholesale and department stores, and also aiming to improve awareness in the Japanese market. Luigi Colombo established the company in the late 1960s. Colombo is one of the leading companies in the textile industry, focusing on valuable materials such as cashmere, guanaco, vicuna, camel, mink and chinchilla. The HQ in Borgosesia, north-western Italy, is surrounded by beautiful nature such as the Sesia River. They produce fabrics, clothing and accessories. Many world-class luxury brands are ordering their fabrics because of their reliable quality.

The quality control starts from the selection of raw materials sourced from China, Mongolia, South America, Australia, Canada, etc. They carry out a continuous research and development in the production processes. 94 different production steps are necessary to produce a fabric. The knowledge and craftsmanship handed down from generation to generation, combined with the latest technology are a key point. At Colombo, they have passion and respect for the precious materials. They also protect the environment by carefully monitoring the quality of the water of the nearby river and of the air.

The men's and women's ready-to-wear collections are made with precious noble fabrics, yarns and details. They have recently opened a flagship store in Milan and also have the corners at the most prestigious department stores and specialty stores around the world. They use only very fine cashmere for knitwear, unconstructed jackets and comfortable cashmere fleece coats. Also they propose stoles in different materials, from cashmere/silk to vicuna. In addition they employ a very fine kid cashmere blended with silk.

The price range is ¥320,000-¥1,280,000 for outerwear, ¥110,000-¥630,000 for knitwear, ¥70,000-¥1,200,000 for the stole. The sales campaign for the Spring/Summer 2020 collection will be held in Woollen Tokyo and Osaka.

Production Process

1. Raw materials is obtained by combing the Cashmere goats. From here, the yarn that forms the basis of the fabric is made.
2. To keep air clean, the air purification system is important; the fabric is woven in a clean space.
3. The woven fabric undergoes careful checks by human eyes. Quality control throughout the entire production is fundamental to obtain the best noble fibres fabrics.
4. Use of a natural brush made of thistle flowers. This results in a smooth surface and 3D effect.

Pick-up Item

Left: "Flying stole" using pure Vicuna, exceptionally soft **Right:** 100% Kid cashmere turtleneck sweater.